

仲善支部 活動報告

1 研究主題

生き抜く力を育むためのメディア教育の在り方
～メディア活用の目的を明確にした
授業作りの研究～

2 はじめに

現在、私たちを取り巻く生活環境において、スマートフォンやタブレット等の新しい ICT 機器や無線 LAN などが急速に普及している。一方、教育現場においても環境が整えられてきており、利用できる教員が増加している。

本支部では、そのような ICT 機器などのメディアを活用した授業を行うにあたって、各教員が明確なねらいをもって授業作りをするという視点を重視し、その実践内容を相互に共有していくことを目的として実践的な研究を進めることとした。

3 研究計画

(1) 5月2日(金)

香中研仲善支部総会

場所：善通寺市立西中学校

内容：研究組織、研究主題、研究内容

(2) 7月29日(火)

香中研仲善支部教科外研究会

場所：まんのう町立満濃中学校

内容：各校の取り組み発表

4 研究内容

(1) 教科指導における活用

【各教科においてのメディアを取り入れた授業作り】

① 社会科

社会科では、グラフや様々な写真や動画等、多くの資料を活用して授業づくりを行っている。それらをコンピュータに取り込み、テレビや電子黒板に拡大して表示し、授業に活用している。

例えば、戦後の焼け野原から現在の首都東京への復旧の様子を電子黒板で写真やグラフを使って説明することにより、戦後の発展する様子や日本経済が視覚的にわかりやすく提示することができた。また、日本の人口の変化と特色の单元では、「馬路村」を題材として CM や GoogleMAP を利用することによって、「過疎」についてより具体的に考えさせることができ、生徒の追求意欲を高めることができた。

② 数学科

空間図形の授業で平面図形が軸を中心に回転する様子を想像し見取り図にすることは、言葉だけでは説明できず、図形が苦手な生徒にとっては理解が困難な内容である。そこで、シミュレーションソフトを利用し視覚化することで、生徒に分かり易く説明することができた。生徒からも「回転の様子がよくわかった」「1つがわかるとほかの問題は自分のなかで想像することができた」などの感想が得られた。

③ 体育科

バドミントンの打ち方を解説付きで画像・動画を使って説明することによって、技能の向上への意欲が高まった。また、オリンピックや国際スポーツについての動画を見せることによって、様々なスポーツに関心を持たせることができた。

④ 国語科

事実と考えの違いをパワーポイントの画像で表示しゲーム形式で指導した。言葉だけでなく画像も同時に表示することで生徒の興味を引くことができ、分かり易く説明できた。

⑤ 音楽科

曲が作られた時代を、電子黒板を用いて紹介した。映像と一緒に音楽を聴くことによって、作者がどんな思いで曲を作ったのかを考えさせることができた。

⑥ 英語科

授業の最初に歌う英語の歌を DVD を使用して画像

とともに聴かせている。また、基本文や本文のロールプレイにおいてもDVDを使ったりデジタル教科書の文法アニメなどを見せたりすることによって、日本語と異なる英語の文構造を理解するための手助けとなっている。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の活動を取り入れた授業を行うとき、英語のインタビュー番組のDVDを見せることで、生徒は表情やアイコンタクトの仕方などを学ぶことができた。

⑦ 技術・家庭科

生徒の興味・関心の向上や授業の円滑化を図るために、資料の提示にはできるだけ電子黒板や教材提示装置などを利用している。文字による説明だけでなく実物や模型、動画・画像などの教材を用意することで生徒の理解を深めている。

「エネルギー変換に関する技術」(Web ページ)では技術室でプロジェクターを活用した。様々な発電方法やその特徴、課題等をWebのデジタルコンテンツを利用して説明した。Flashで作られたコンテンツは解りやすく、好評であった。

⑧ 理科

授業の導入や教科書には掲載されていない具体例などを紹介する際にパワーポイント教材を使用している。



顕微鏡で観察を行う際に、事前に対象物を大型テレビで見せておくと、生徒は観察に取り組みやすい。対象物を生徒が一齐に確認できることが、観察への意欲を高めるためにも非常に効果的であった。例えば、2年生の理科の授業では、植物とヒトの細胞を顕微鏡で観察し、デジタルカメラで撮影することによってテレビに拡大して映した。これにより、生徒が観察した細胞と比較し、それ

が正しいかどうか確認できるとともに、観察できなかった生徒も細胞の様子を見ることができた。



また、写真をデータとして保存することで、次の授業で復習として活用することができ、知識の定着につながった。さらに、生徒が撮影した植物細胞と動物細胞の写真を加工し、それぞれの細胞を容易に比較することができた。

(2) 行事等での実践

① 運動会の創作ダンスでのビデオ教材活用

運動会では毎年恒例の創作ダンスを行った。各学年ともダンスリーダーを中心に、生徒自ら振り付け等を考えていく。その際、YouTubeの映像やミュージックDVDを参考にさせた。

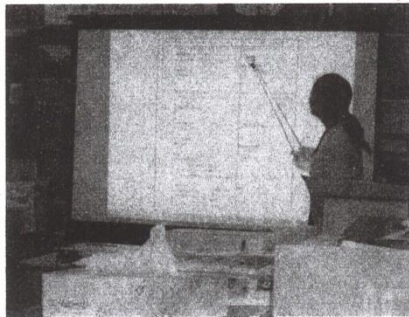
② 人権劇でのビデオ教材活用

人権劇に向けて、様々な人権啓発ビデオ教材を活用した人権学習を行っている。時には、その中のビデオ教材が劇の題材になることもある。その場合は、著作者の許可を得てビデオ教材をもとに原稿を作成したり、場面をキャプチャーして背景画のイメージを作成したりする。また、過年度の人権劇VTRは劇作りの際の重要な教材として活用されている。これまで取り貯めてきたVTRは貴重な教材である。

③ 修学旅行事前学習でのメディア教材活用

修学旅行の事前学習で平和学習を長崎やヒロシマの歴史を映像で見ることで関心を深めた。例えば、長崎での班別行動の見学先の一つである山王神社の「片足鳥居」「被爆クスノキ」を紹介する際に、歌手福山雅治のインタビューやクスノキの映像をモニターで見せた。新聞記事とともにインタビューの場面の映像を見せることで「クスノキ」の歌にこめられた思いなどを効果

的に感じ取らせることができた。



（３）進路学習での実践

各学年の成長段階に対応した進路学習を実施する上で、PowerPoint で作成したプレゼンのデータを活用した。将来の職業を考えさせたり、自分の適性を分析したりするプレゼンデータや、上級学校についての知識を高めるためのデータを作成した。以下はそのスライドの一部である。



していく必要がある。

我々教員が手間ひまを惜しまず、生徒にとって分かる授業、楽しい授業を目指して授業づくりを行うことが肝要である。そのために、メディアを有効に活用できるよう今後とも実践的な研究を積み重ねていきたい。

5 今後の課題

メディアを活用するためには扱うための知識や事前の準備が必要であるが、デジタルデータは変更や更新・譲渡が容易であるため1度作っておけば何度でも繰り返し加工しながら活用することができるため大変便利である。

しかし、一方で著作権への配慮やICT機器を扱うための知識は自ら研修して学ばなければならない。以前と比べ、メディアを活用する授業は確実に増加しているが、まだまだ十分とは言えない。本部会が中心となって、教職員一人一人のスキルアップを図っていくとともに、優れた実践を共有